

いまさら聞けない



いまだから聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「？」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。  
ご質問はこちらまで  
im-faq@impress.co.jp

今月のポイント

# 1 ブログで使われる「トラックバック」って何？

## 2 「ユビキタス」って何のこと？



ブログで「トラックバック」という言葉をよく聞くのですが、何のことですか？（京都府 河野さん）



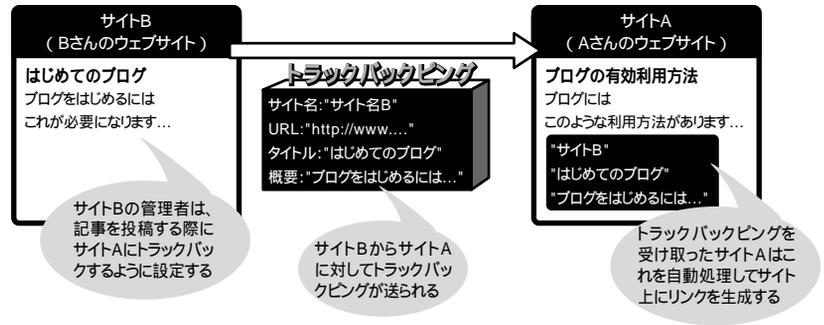
トラックバックとは、複数のウェブサイト間でお互いの関連する内容を通知し合うために作られた技術です。たとえば、Aさんのサイトには「ブログ」に関する記事が投稿されて書き込まれているとします。それを読んだことのあるBさんが、「ブログ」について書き、自分のサイトにも掲載することにしました。Bさんは、その記事を書き込む際に、Aさんのサイトにトラックバックするように指定します。するとAさんのサイトに「トラックバックピング（TrackBack Ping という「サイト名」「URL」「記事タイトル」「本文概要」などの短いデータが送られます。これを受け取ったAさんのサイトでは、ピングが処理されて自動的にBさんのサイトへのリンクが生成されます。

このように、トラックバックを利用することで、「あなたのサイトに関連した記事がここにありますよ」「あなたのサイトの内容を参考にした記事を書き込みました」などと通知することができるのです。こうして情報

や知識を簡単に共有したり交換できるようになります。

ただし、トラックバックを受けるにはサイトにトラックバック受信機能が実装されている必要があります。ココログやMovable Type、tDiaryなどのブログツールには、はじめからこの受信機能が付いています。また、受信機能が付いていてもトラックバック拒否の設定にすることによって、トラック

トラックバックの仕組み



バックを受けないようにすることも可能です。

また、多くのブログツールにはコメント機能が付いていますが、トラックバックとの最大の違いは、コメント機能では相手サイト内の記事に自分のコメントを投稿しますが、トラックバック機能では自分のサイト内に投稿した記事を相手サイトに通知するという点にあります。（ライター・佐治輝幸）

複数サイト間で互いの関連する記事を通知し合うための技術  
トラックバックピングでリンクを張る



## Q

「ユビキタス」という言葉を最近よく耳にしますが、どういう意味なのですか？（東京都 山田さん）

## A

最近、ユビキタスとは「いつでも、だれでも、どこでも使えるコンピュータ」あるいは「モバイルコンピューティング」と同様の意味合いで使われています。

ITにおける「ユビキタス」(遍在するという意味)は、1988年にゼロックス パロアルト研究所(PARC)のマーク・ワイザー博士が最初に提唱した「ユビキタスコンピューティング」(Ubiquitous Computing)に由来しています。彼は「人とコンピュータの関係」の歴史を研究していくうちに、次に起こる変化を予測しました。その新しい「人とコンピュータの関係」が彼の「ユビキタスコンピューティング」の元々のコンセプトです。

この「人とコンピュータの関係」の歴史には、1台のコンピュータを多くの人で共有する「メインフレーム」の時代、1台のコンピュータを1人で専有する「パーソナルコンピュータ」の時代がありました。これに対して、多くのコンピュータ(たとえば数百個)を1人で同時に利用するのが「ユビキタスコンピューティング」です。これは、コンピュータがさらに小型化し、相互にネットワーク接続されることによって可能になるのです。一見シンプルに見えるコンピュータの数の変化は、次の2つのパラダイムの変化をもたらそうとしています。

1つは、コンピュータを「所有」するという考え方が大きく変わる点です。コンピュータがどこにでもたくさんあるわけですから、コンピュータを所有して使うというよりは、行先にあるコンピュータを随時利用する形

## 「ユビキタス=遍在する=行く先々が自分の(仕事)環境に変わる」 マーク・ワイザー博士が最初に提唱

態に変化していくようになります。

もう1つは、私たちの生活の中にコンピュータが深く浸透するに従って、人間がコンピュータを意識しなくてもよくなっていく点です。彼はこのような考え方を「Calm Technology」(意識させない技術)と呼んでいます。これは、さまざまな技術が成熟して人々の生活の中に浸透していく過程で、人々にそれをほとんど認識できないレベルにまで洗練されていく、という考えに基づいています。

そこで、ユビキタスコンピューティングの特徴は次の4つにまとめられます。

- ① どこにでもある: コンピュータを所有するのではなく、そこにあるものを利用する。
- ② 装置ではなく環境: 個々の装置(コンピュータ)が実現するのではなく、コンピュータが相互作用する環境で価値を提供する。
- ③ 意識しない: 道具としての使い方に気を取られるのではなく、やりたいことに意識

を集中させることができる。

- ④ 状況に応じたサービス: たとえば「今、ここで、私が、これを、あなたと実行する」に合わせたサービスが提供される。

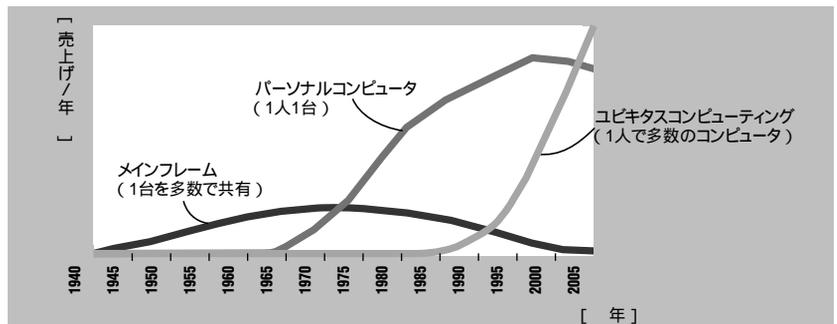
具体的には、モバイルなワークスタイルが「どこへ行くにも、自分の仕事環境を持って行く」のに対して、ユビキタスなワークスタイルは「どこへ行っても、そこが自分の仕事環境に変わる」というイメージです。

このように、マーク・ワイザー博士がユビキタスコンピューティングという言葉に込めた思いは、あくまで人間が中心であり、コンピュータを生活の背後に隠してしまうことによって、すでに存在する世界をより豊かなものにし、人と人をより緊密に結びつけるというものなのです。

このような思想は、現在、「ユビキタスネットワーク」や「ユビキタス社会」といったキーワードの中にも継承されています。

(富士ゼロックス・堀切和典)

コンピュータの歴史的な流れ



【出典: <http://www.ubiq.com/hypertext/weiser/UbiHome.html>】

この図は、年ごとの売上げの変化を概念的に表したものです。「メインフレーム」の波に続いてより大きな「パーソナルコンピュータ」の波がさらにその次にもっと大きな「ユビキタスコンピューティング」の波が来るとワイザー博士は予測した。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)